



児嶋よしひこ (志政会所属)

議会だより

令和6年12月発行
発行／静岡市議会志政会
編集／志政会 広報部
〒420-8602
葵区追手町 5-1 本館 2 階
Tel: 054-653-3412

11月議会

令和6年11月議会が11月15日～12月11日まで会期27日で開かれました。私は11月28日の個人質問で登壇し、1. 静岡市アリーナについて、2. 子育て支援について、3. 高齢者支援について、4. 再生可能エネルギーについて、本市の取組を質問しました。(以下は質問抜粋です)



1. 静岡市アリーナについて

静岡市では、静岡市アリーナの整備に向け検討を進めています(下記参照)。今回の事業手法はPFI(*)の一種である「BT(Build Transfer)+コンセッション方式」を計画しており、この方式は事業者が自らの提案で施設の設計・建設を行い、完成後に所有権を行政に移転し、行政は施設の運営権を事業者に一定期間譲渡、事業者は運営による収益から行政へ対価を支払うものです。その対価をアリーナ設計・建設費に充当できるため、市の負担を少なくできます。事業者にもメリットがあり、市の負担をより少なくするためには、「アリーナ整備事業PFI等アドバイザー業務」が重要です。

(*PFIとは…公共施設の設備や運営等を民間の資金やノウハウを活用する方法)

Q BT+コンセッション方式とした際に必要となるPFI等アドバイザー業務とはどのような内容ですか。

A プロジェクトマネジメントのほか、事業の発注や契約において、高度な専門知識を必要とする実施方針や要求水準書の策定等の支援を行い、収益性の向上や財政負担の軽減といった、BT+コンセッション方式の効果を最大化できる公募条件を設定して事業を進めていきます。

静岡市アリーナ基本計画(案)が発表されました

アリーナの概要

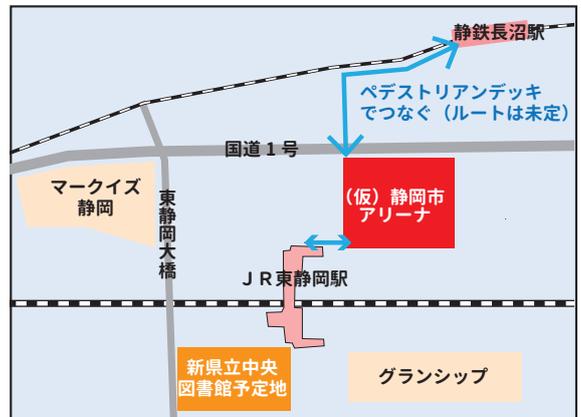
- ・プロスポーツの試合や大きな音楽イベントに対応可能な8,000席以上。
- ・アリーナとJR東静岡駅、静鉄長沼駅をペDESTリアンデッキでつなぎます。(SAGAアリーナ)



アリーナイメージ (SAGAアリーナ)

アリーナの防災機能

アリーナには大型トラックがそのまま屋内に入れる搬入口やVIPルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。災害のときは、これらの設備が緊急物資集積所や避難所として活用できます。



アリーナの事業費・事業手法

- ・現地での設計建設費は約300億円。
- ・市が所有して事業者が運営する形態を採用(BT+コンセッション方式)。事業者は運営権を持つ対価として開業後に見込む収益に応じた建設費の一部を負担。

スケジュール(最も早い場合)

- 【令和6年度】 基本計画の決定
- 【令和7～8年度】 事業者の募集・決定
- 【令和8～11年度】 設計・建設工事
- 【令和12年春】 アリーナオープン

2. 子育て支援について

共稼ぎ世帯では、毎日子供を保育施設へ送り迎えする必要があり、仕事の関係で普段より朝早くなったり、残業で遅くなったり、出張の時など、両親ともに都合が悪い日が重なる場合は子供の送迎に困ります。

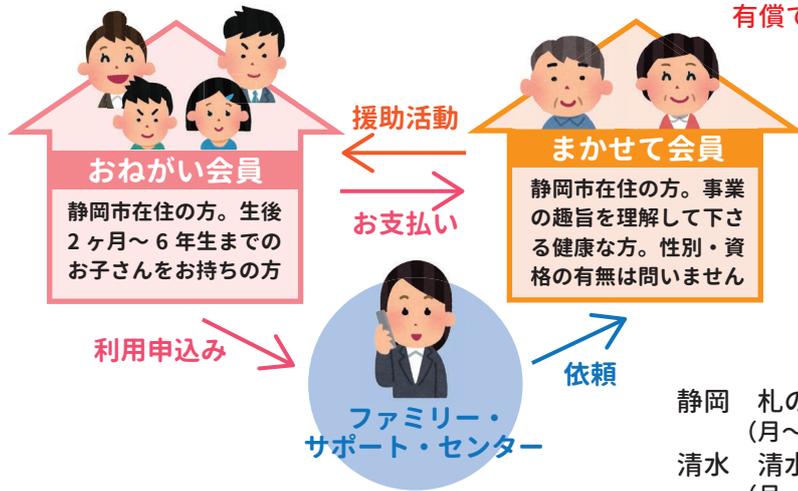
そんな時は、子育ての手助けをしてほしい「おねがい会員」と、子育てのお手伝いをしたい「まかせて会員」をファミリー・サポート・センターのアドバイザーが橋渡し役となる「静岡市ファミリー・サポート・センター」を活用することができます。

Q ファミリー・サポート・センターを活用した保育施設への送迎支援の状況はどのようになっていますか。

A 令和5年度末時点の会員数は、「おねがい会員」が3,695人、「まかせて会員」が941人で、令和5年度の全利用件数7,251件のうち保育施設への送迎の利用件数は2,235件となっています。令和4年度は全7,392件のうち1,966件、令和3年度は全7,287件のうち2,215件で、全件数及び保育施設への送迎件数ともに、ほぼ横ばいです。

ファミリー・サポート・センターとは

子育ての手助けをして欲しい「おねがい会員」と子育てのお手伝いをしたい「まかせて会員」が有償で助け合う仕組みです。



【活動報酬】

利用時間帯		報酬 (1時間)
平日	7:00～19:00	600円
	上記以外の時間帯	700円
土日祝	7:00～19:00	700円
	上記以外の時間帯	800円

【問合せ先】

静岡 札の辻ビル4階 054-254-2283
(月～金 8:30～18:00)
清水 清水テルサ1階 054-355-3333
(月～金 8:30～17:00)



詳細はコチラ

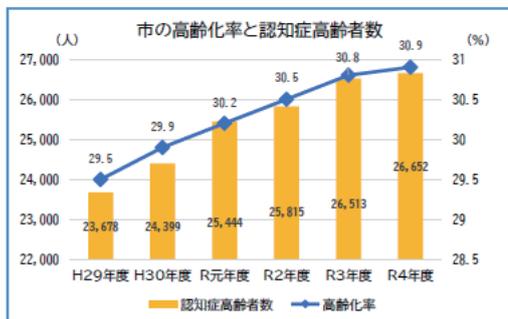
3. 高齢者支援について

厚生労働省が取りまとめた2022年における日本人の介護が必要になった要因として、認知症が全体の16.6%と最も多く、2060年には65歳以上の5.6人に1人認知症患者になると言われています。

軽度認知障害の状態から、年間10～30%の方が認知症に進行する一方、運動や食生活などの対策を適切に行うことで健常な状態に回復できる事例があることから、各自治体では認知症への進行予防を支援する様々な取組を実施しています。

Q 軽度認知障害の高齢者の早期発見と対応について、本市ではどのように実施していますか。

A 脳の健康度を測定する機器を、認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」に常設して気軽に認知機能をチェックできたり、地域のイベント等での測定機器の活用も行っています。軽度認知障害の疑いがある方には、早期の対応の重要性を説明するとともに、認知機能の程度に応じて、予防に効果的なS型デイサービス等の通いの場の案内や、医療機関への受診勧奨を行っています。



【静岡市の高齢化率と認知症高齢者数】

【かけこまち七間町】



葵区七間町5-8 (ミライエ1F)
電話 054-204-1541



詳細はコチラ→

4. 再生可能エネルギーについて

Q 再生可能エネルギーの普及について、まずは太陽光発電をより多く普及させることが重要です。本市の再生可能エネルギーの発電ポテンシャルをどのように活かしていきますか。

A (市長答弁) 本市の再生可能エネルギーの発電ポテンシャルは環境省が公表している「情報提供システム」によると太陽光が最も高いが、日中の余剰電力の発生が課題であり、太陽光の余剰電力をカードリッジ式の蓄電池に充電し、モビリティで活用していくという新たなサービスのアイデアもあり、新たな製品やサービスを共創することで本市の発電ポテンシャル活用を進めていきます。

【意見・要望】

- ・静岡市アリーナについては、東静岡駅すぐで最高峰のプロスポーツや大規模コンサートが観れるということで、期待している市民が多く、渋滞対策などの課題に対応し、魅力あふれるエリアにしてください。
- ・子育て支援については、ファミリー・サポート・センターをもっと周知してもらい、利用率が低い（利用したことがある：約7%、知ってはいるが利用したことはない：約55%）原因分析と対策を進めてください。
- ・高齢者支援については、脳の健康度を測定する機器を使ってチェックされる人がまだまだ少ないと思うので、自治会や各種団体の様々なイベントで活用できるような取組強化もよろしくお願いします。
- ・再生可能エネルギーについては、太陽光発電の余剰電力の更なる活用と、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの推進をよろしくお願いします

静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。
右のQRコードから、私の全質問項目が確認でき、本会議の動画もご覧いただけます。
是非、ご覧ください。



総務委員会



総務委員会所管の令和6年11月補正予算について審議し、下記のような意見要望を伝えました。

【静岡市移住者住宅確保応援事業費助成】(下記参照)

本事業の内容を市内外にしっかり発信し、静岡市に多くの方が移住してもらえるよう取り組んでください。

【日本平周辺環境調査事業】

富士山の眺望を活かした施設など今後有度山エリアを活用する際に対応できるように、オオタカの生息を含めた自然環境調査をしっかりと進めてください。

【静岡市の主な移住促進事業】

■ 住宅確保応援補助金…11月補正新規事業

静岡市への移住者を対象とした住宅確保のための助成（補助率 1/2）

- ・条件：転入前に県外に5年以上在住していること（その他条件あり）
- ・補助額：①東京圏からの移住 単身 60万円、世帯 100万円、子ども加算 100万円/人 上限 400万円
②東京圏以外からの移住 単身 30万円、世帯 50万円、子ども加算 50万円/人 上限 200万円



■ 静岡市移住・就業補助金

- ・対象：東京23区に居住又は通勤していた者（その他条件あり）
- ・補助額：単身 60万円、世帯 100万円、子ども加算 100万円/人
*上限なし

■ 空き家改修等補助金

- ・対象：子育て世帯、移住者等
- ・補助額：上限 200万円

(例) 東京23区内から3人世帯(夫婦・子ども1人)が空き家を改修して移住した場合

住宅確保応援補助金
200万円

+

移住・就業補助金
200万円

+

空き家改修補助金
200万円



最大 600万円

来年度当初予算へ政策提言を行いました



志政会は令和6年11月13日、難波市長に「令和7年度当初予算に対する政策提言」を提出しました。

提言書では、第4次総合計画への施策反映や、社会課題の解決に向けた共創の仕組みづくり、自然災害への減災強化、自治会・町内会のデジタル技術活用の推進、公立学校教員の年度当初の欠員解消など、180項目について要望しました。

(以下、政策提言抜粋。詳細については、会派ホームページに掲載しています)

【 来年度当初予算への政策提言（抜粋） 】

■ 防災対策の強化

① 情報収集・発信についての仕組みづくり

災害時総合情報サイトについて、災害時協定を結んでいる組織や、民間の支援団体なども含め情報共有・情報活用方法について進めること

② 関係団体との連携体制強化

災害ボランティアセンターの本部組織と、他のボランティア団体とのネットワーク化を図るため平時より会議体をつくること

③ 自然災害への減災強化

令和4年台風15号をはじめ、大雨による浸水被害が頻繁に発生する箇所については、改めて地域住民を交え、浸水対策に向けた検討会の設置を行うこと

④ 避難所について

トイレトラックの局間を超えた平時の活用推進と台数増に向けた検討を進めること

■ 商工・物流

① 企業誘致・立地対策

・一般社団法人静岡市土地等利活用推進公社と連携し、利便性の高い企業立地用地の創出をすること

・市街地調整区域の活用について推進すること

② スタートアップと「知・地域共創コンテスト」

今後も継続し更なる推進を図るためにも支援策について拡充を図ること

■ 子ども・教育

① 子育て支援の充実

第1子からの保育料無償化の実現を視野に、低所得世帯からの段階的な無償化対象範囲の拡大について検討をすること

② 教育の質の向上

・教員欠員の解消に向け、年度当初の欠員が生じないように、措置を講ずること

・フレキシブル担任制試行の成果を踏まえ、今後の加配拡充のための予算を確保すること

■ その他

① 自治会・町内会

・自治会町内会のデジタル活用を推進すること

・自治会町内会の加入率改善に向けた取組推進及び役員の負担軽減策を推進すること

② 清水エスパルス新スタジアム・東静岡駅北口アリーナ整備

・渋滞や騒音対策、災害時の役割など、市民の理解が得られる対応を図ること

・目指すべき都市像に合致し有すべき機能を明らかにした上で稼働率・収益性をあげる計画をたてること

③ 公園整備の推進

・パーク PFI の推進などにより、駐車場の大きな公園の整備を推進すること